

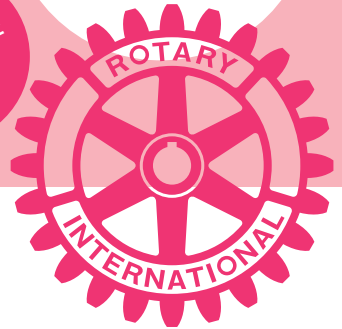


国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐久間 英一
会長 宮崎 登志行
幹事 采女 真弓



人類に
奉仕する
ロータリー



第30回例会 H.29.2.22 (水) ☀

- ▶開会点鐘 ▶ロータリー歌斉唱「我らの生業」
- ▶四つのテスト唱和 橋本弘幸さん

会長挨拶

宮崎登志行 会長

18日(土)の中央分区インターシティ・ミーティングに18名の皆様にご出席いただきましてありがとうございました。2020年に向けてのロータリー活動について各クラブからご報告をいただき、郡山アーバン RC 代表として私が報告させていただきました。どのクラブも会員増強・退会防止が一番の課題であるということでした。これからますますの皆様のご協力をいただきながら、会員増強に努めていきたいと改めて思いました。

先日、帝京安積高校の顧問の先生と名刺交換をさせていただきました。太鼓祭 in ソニックシティ 2016 第8回日本一決定戦に出場したそうで、元気に活躍している高校生の姿は素晴らしく、またロータリー活動を通じてご丁寧なご連絡をいただいたことをありがたく感じております。

まもなく3月を迎え、大震災から6年となります。3.11には各地でいろいろなイベントが行われますが、東北各地で開催された六魂祭は、今年から名称を変えて仙台からスタートします。郡山ではこれからは除染廃棄物の移送が始まります。まだまだ復興道半ばですが、いろいろな思いを抱えながら、ロータリーとしてどのように取り組んでいくべきかも考えていきたいと思います。

鈴木尚子 国際奉仕委員長

2月8日にベトナム国立交響楽団に楽譜を贈呈いたしました。地区補助金を活用した事業ですので報告が必要です。福島民友東京支社に取材に来ていただき、ロータリー活動の広報ができたものと思います。皆様のご協力に感謝します。

大山三起雄 親睦活動委員長

来週の3月1日(水)に、ひなまつりアーバンナイトとして移動例会を味戸さんの須賀川サンルートで開催します。5時45分にホテルハマツからバスが出ます。

幹事報告

采女真弓 幹事

郡山西 RC 創立50周年記念ゴルフ大会のご案内が来ております。

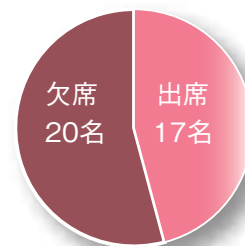
向山良作 国際奉仕副委員長

紀尾井ホールで本名徹次様にお会いして、ベトナム国立交響楽団に楽譜を贈呈いたしました。宮崎会長、味戸さんご夫妻にご出席いただきました。福島民友新聞東京支社が取材に来て記事にいただきました。日本ではアマチュアオーケストラでも所有している楽譜を、ベトナム国立交響楽団ではまだ持っていないと本名様からお聞きしまして、このような支援をこれからも引き続き必要であると感じました。楽譜贈呈の御礼として記念品をいただきました。



出席報告

小林悦子 副委員長



総員 37名
出席率 54.05%
前回修正率 100%

スマイルBOX報告

佐藤洋子委員長

- ☺佐藤功一 ▶ 渡邊万里子さんの卓話を楽しみにして。
- ☺鈴木尚子 ▶ 長尾会員が喜寿を迎えられ、お元気でこれからもご活躍を祈っております。
- ☺宮崎登志行 ☺采女 真弓 ☺橋本 弘幸
- ☺宗形 千鶴 ☺大山三起雄 ☺岩山 慎一
- ☺渡部 宏夫 ☺高橋 功 ☺味戸誠一郎
- ☺滝田 幸子 ☺佐藤 洋子



プログラム/会員卓話


「最近の広告のトレンドについて」
 渡邊万里子 IT委員

お手元の資料を見ていただきながら話をお聞きいただきたいと思います。広告媒体の動向を示すグラフを見ると、従来型4マス広告と言われるテレビ・新聞・雑誌・ラジオのうち、新聞・雑誌の紙媒体の広告費が大幅に減っています。特に新聞は今世紀に入

ってから著しく、その要因はインターネットの普及によって購読者が奪われたことであり、リーマンショックの影響が表れたものと考えられます。新聞推定読者数推移のグラフを見ると、あくまでも試算の前提による結果ですが、読者数(回読人数)のピークは、新聞発行部数ピークの1997年よりも10年前の1987年に起きていたこととなります。21世紀に入ってから下降速度を強めており、2017年には1956年の基準値レベルにまで落ち込むことは容易に推測されます。都道府県別上位3紙の表は、朝刊販売部数・世帯普及率を表しています。福島県の状況は、世帯数が77万、福島民報、福島民友、読売の上位3紙を合わせた年間販売部数は約48万です。数紙を取っている世帯もあるのですが一概には言えませんが、福島県の約半数が6割ほどの新聞購読者数があるというデータです。ニュースはヤフーやラインでほぼ見ることができ、福島民報・福島民友のインターネットサイトで「おくやみ」などを見ることができますので、若者の新聞離れは否めないものと思います。

経産省が今月発表した広告売上推移の前年同月比を見ると、2016年12月の日本全体の広告業全体における売上高はプラス3.6%、新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・インターネット広告の5部門では、新聞・雑誌はマイナス、テレビ・ラジオは若干の増加、インターネット広告はプラス11.4%を示しました。若者のテレビ離れが取りざたされていますが、土地柄や年齢を考慮したCMにより若干増えているのかと思います。ラジオは 아이폰やインターネットでも聞くことができますので需要があるのかと思います。

インターネット広告費の月別推移のグラフを見ると、3月と12月に大きく伸びる動きがパターン化しています。年末と年度末にインターネット経由で商品が多く売れる時期のため、それを見込んでインターネット広告への資金投入が活性化した結果と考えられています。

インターネット広告にはいろいろな種類がありますが、ひとつはリスティング広告で、ヤフーやグーグルなどの検索ページに表示されます。以前はグーグルの検索窓に言葉を入れると関連広告が画面の右側や中央に出てきましたが、今は右側はなくなりました。ユーザーが広告費をかけていることを知っていることから、リスティング広告は減少傾向にあります。ソーシャルメディア広告はフェイスブックやライン、ツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)においてリアルタイムに広告が流れる仕組みです。フェイスブックは国内の月間アクティブユーザーが2700万人います。予算や年齢や地域を設定することができ、何人が見たかというデータが出てきますので費用対効果が高い広告です。動画広告はユーチューブが主ですが、ウェブサイトで一定時間、動画を表示する広告手法です。映像ですのでリアリティが高く、バナー広告(動かない広告)と比べてCTR(クリック率)が高くなりま

す。これも使い方によっては効果の高い広告です。ネイティブ広告は編集タイアップ広告とも言われ、自社の広告を配信するのではなく、第三者目線で作られたコンテンツによって消費者へ訴求する広告手法です。記事広告とも言われ、2014年以降にアメリカを中心に急速に成長しているウェブ広告分野です。他にメール広告、バナー広告などがあります。インターネット広告を使う意味は、自社サイトへの誘導であり、宣伝をして自社商品を買ってもらうことです。

ホームページをアドレス代わりに作る方もおられます。例えば建設業では入札の際にホームページがないと印象が悪いとか、認可保育所などでは役所から言われて作る方もいるようです。ここ1~2年で急激に増えているのはECサイトです。ショッピングカートを設置して購入もでき、クレジット決済までできるサイトです。ホームページで増加しているのは、サイトの翻訳です。主に英訳ですが、中国語訳の依頼もあります。オリンピックの影響で、外国人の誘致を見込んだ翻訳サイトで、岳温泉はすでにサイトアップをしておりますのでぜひご覧ください。

制作会社として3~5年後に予測されるのは予約システムの構築です。すでに郡山にもたくさんありますが、病院や飲食店、エステや美容室などをサイトで予約するもので、年々増えてきています。紙とデジタルの融合として、紙媒体とウェブの進化によって、併せて広告宣伝するということです。以前から携帯で読み取ってウェブで見ることができ、QRコードやARコードがあります。ARコードはロゴマークなどいろいろなものに仕込むことができ、スマートフォンに無料アプリを落として紙にかざすと、動画や映像を見ることができます。カレンダー、新聞、水族館のパンフレットなどがあり、今後増えてくるものと思います。サイン看板は主に静止画ですが、今後はデジタルサイネージ(動く看板)になるかと思えます。ニューヨークの地下鉄などでは電車が通ると髪の毛がふわりと揺れる美容室の看板などがあり、東京駅構内にもすでに見られます。郡山でも2年ほど前からデジタルサイネージの話も出てきており、広告もデジタル化していくことを実感しております。

ロータリー財団寄付者

■宮崎登志行 ■味戸誠一郎 ■橋本 弘幸
■高橋 功

米山記念奨学会寄付者

■宮崎登志行 ■橋本 弘幸 ■佐藤 洋子
■白岩 邦俊 ■味戸誠一郎 ■高橋 功
■滝田 幸子

ポリオ寄付者

■宮崎登志行 ■橋本 弘幸 ■佐藤 洋子